

宮城県感染症発生動向調査情報(第43週)

宮城県【平成26年10月30日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.10.20 ~ 10.26 ・ 第43週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第40週	第41週	第42週	第43週
水痘	2 0.40	6 0.60	3 0.60	1 0.50	2 0.67	2 0.40		30 1.15	46 0.79	1,697	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎			2 0.40	2 1.00	2 0.67	1 0.20		4 0.15	11 0.19	560	→	→	→	
百日咳								1 0.04	1 0.02	8	→	→	→	
感染性胃腸炎	13 2.60	10 1.00	8 1.60	7 3.50	12 4.00	3 0.60	1 0.50	96 3.69	150 2.59	15,373	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	1 0.20	1 0.10						11 0.42	13 0.22	363	→	○→	レ→	
伝染性紅斑	8 1.60	3 0.30	10 2.00	2 1.00	5 1.67	16 3.20		24 0.92	68 1.17	2,198	○→	レ→	○→	○
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	10 2.00	1 0.50	2 0.67	2 0.40	3 1.50	11 0.42	34 0.59	1,652	レ→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		4 0.40	5 1.00				1 0.50	3 0.12	13 0.22	2,407	◎→	○→	レ→	レ
インフルエンザ	2 0.25								2 0.02	28,916	→	→	→	
咽頭結膜熱				1 0.50		1 0.20		6 0.23	8 0.14	576	→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67				1 1.00		3 0.50	6 0.50	145	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	15 1.50	2 0.40	2 1.00	2 0.67	18 3.60		69 2.65	112 1.93	4,803	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	15	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			3 3.00				3 3.00	2 0.40	8 0.67	359	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		4 0.40	1 0.20					12 0.46	17 0.29	524	→	○→	レ→	
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	4	2		6	4	4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病									【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
	不明発疹症							1	1	52				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※													

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求められることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
登米管内 女性1名(第42週)
石巻管内 男性1名、女性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性1名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
大崎管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
栗原管内 女性1名
仙台管内 女性1名
4類感染症: つつが虫病
石巻管内 男性1名
5類感染症: アメーバ赤痢
仙台管内 男性1名(第42週)
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【伝染性紅斑】
大崎管内で警報値を超えた。
登米、石巻管内で警報値継続中。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第41週採取分 (10.6～10.12)	第42週採取分 (10.13～10.19)	第43週採取分 (10.20～10.26)
パラインフルエンザウイルス1型	1件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	2件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
RSウイルス	4件	0件	1件
アデノウイルス	0件	0件	1件
エンテロウイルス	0件	0件	1件

【伝染性紅斑】

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とし、4～5歳の幼児を中心に幼児、学童に好発する流行性の発疹性疾患である。患者報告数は例年夏季に増加するが、県内でも大崎、登米、石巻管内で警報値を超えていることから注意が必要である。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第41週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.67)、長崎県(0.30)、愛媛県(0.25)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は5例と前週と比較して増加し、4県から報告があった。**RSウイルス感染症**: 報告数は2,946例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.76)、山形県(0.73)、北海道(0.67)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(2.94)、島根県(2.52)、北海道(2.37)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(6.42)、徳島県(5.30)、宮崎県(5.19)である。**水痘**: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.36)、山形県(1.33)、新潟県(1.33)、大分県(1.11)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(2.70)、沖縄県(2.41)、石川県(2.34)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は山形県(0.07)、大分県(0.06)、沖縄県(0.06)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(1.62)、福島県(1.53)、宮崎県(0.89)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(1.21)、富山県(1.20)、和歌山県(1.18)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は減少した。3県から3例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、5～9歳(1例)、20代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数